10月の村の人口
＝45年10月末日現在＝

世帯数	1,061	
人口	4,654	男 2,294人 女 2,360人

10月の住民移動　出生4人（男2・女2）　死亡5人（男3・女2）　転入12人（男9・女3）　転出33人（男3・女30）

広報やまこし
発行所 新潟県古志郡 山古志村役場 電話 竹沢局 17 23 78
印刷所 大川印刷所

主な記事
○虫亀で石油の試掘
○道路の除雪に協力を
○ニシキゴイ指導研修所が完成

虫亀で石油の試掘はじまる
一号井は先月四日に開坑

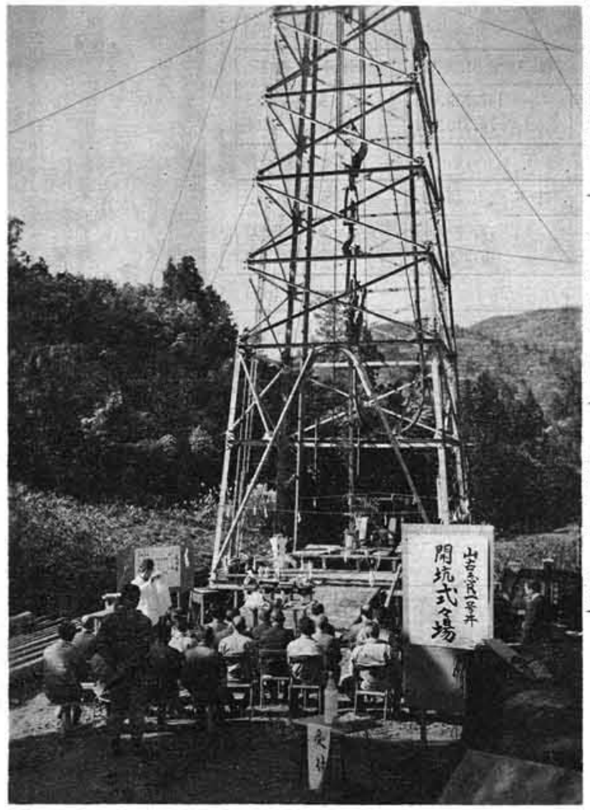
かねて共栄興業株式会社（中西敬社長）の手によって準備が進められていた、虫亀地区での石油の試掘が先月四日から行なわれています。

これは山古志村に埋蔵されるとみられる石油資源を開発しょうと東京・渋谷区に本社、長岡市に鉱業所をもつ同社から試掘が出願されていたもので、場所は虫亀グラウンドの外の濁沢に面した、通称上の山耕地です。

土地所有者の田中忠志さん、長島貞助さんをはじめ地元虫亀地区の協力により十月二十日から準備作業に入り現地には資材運搬道路、高さ二十七米の石油やぐら、電気掘さく機、パワーポンプなどが設備され、十一月四日に〃山古志R一号井〃として試掘が始められました。また、十日には意義深い開坑式も現場で行なわれました。

工法は約千米の深部まで掘さくし電気探層機により調査してカメラにおさめることになっており、掘さく後の井戸には直径十五センチのパイプをそう入し、さらにその中に五センチのパイプを入れ、石油または天然ガスが採取されることになります。

この試掘が成功し、石油やぐらが次々と立ちならぶことは村の大きな発展につながるものであり、豊富な地下資源の開発に期待し、その成功を心から祈るものであります。



高いやぐらに大きな夢と期待をこめる喜びの開坑式＝十一月十日

埋蔵の可能性はじゅうぶん
地下資源調査の結果から…

山古志村に埋蔵されている石油、天然ガスなどの地下資源は古くから関係者に注目されており、戦前には竹沢や虫亀地区で採掘されたこともありました。

最近においても石油資源開発関係の企業者から試掘権や鉱区の出願があり、村内ほとんどの地域がその調査の対象になっています。

このようなことから村では県や石油開発公団長岡鉱業所に依頼して、昭和四十三年六月から九月まで地下資源や地質などの調査をしました。それによるとおおむね次のような結果になっています。

地下資源地質調査の結果

地質概観＝村内に発達する地層は次のようである。

一 椎谷層（暗灰色粘質泥岩層、安山岩質集塊岩層）
本層は種苧原部落の西部と虫亀部落、竹沢地区一帯に発達している。岩相は主に粘土質の泥岩で暗灰色を呈し、ところどころに二～三米の凝灰質砂岩を夾在し、地すべりがひん発している。
また、猿倉山一帯および虫亀部落東側には椎谷層初期と考えられる安山岩質集塊岩が非常に緊密に発達している。

二 西山層（灰色砂質泥岩層）
本層は種苧原部落より大久保、桂谷部落および梶金部落とほぼ南西方向に発達している。
また砂質泥岩中には浅海棲の二枚貝、巻貝の化石層がレンズ状は発達していることもある。

三 灰爪層（シルト岩、砂岩、礫岩の互層）
本層は種苧原、池谷、梶金部落の南東部に発達している。岩相はシルト岩、砂岩、礫岩を主とする不規則な互相である。

地質構造＝猿倉山から虫亀、竹沢方向に延びる背斜構造（凸）が認められその中に二条の背斜軸が小断層をともなって形成している。
間内平、二丁野、風口峠地区のガス露頭の位置は、この背斜構造の上に位置する。
芋川、小松倉部落間において半ドーム構造が形成し北東に開いている。小松倉地区東南のガス噴出個所は半ドーム構造のほぼ中心に位置する。
中野部落から寺野部落附近には東落ちの小断層が推定される。種苧原部落周辺のガス露頭は小断層または亀裂によって上昇してきたものと推定される。
また、現在鉱泉徴候のあるところは数か所認められたが、いずれも硫化水素臭と硫黄と思われる昇華物が附着している。これらはすべて椎谷層初期の安山岩質集塊岩が起因しているものと思われるが、小規模である。

結果

一 可然性天然ガス、石油
虫亀部落附近に発達するほぼ南北に延びる背斜構造は東山油田と田麦山油田との中間部に位置し、これらと一連の構造と考えられる。従ってガスおよび石油が深部に賦存する可能性が十分考えられる。
また、小松倉附近に発達する半ドーム構造の深部にも同様のことが考えられる。
なお、将来科学的調査（物理探鉱調査）によって深度千米以深の物質構造も把握する必要がある。

二 鉱泉
地質的に考察すると高温（二十五度以上）を求めることは困難である。
しかし、低温（二十五度以下）のものは可能であり、現在湧出している鉱泉の個所で加工し、鉱泉にともなって噴出するガスを燃料として利用することも考えられる。

12月定例村議会
11日から

十二月定例村議会は十一日から開かれ一般会計補正予算をはじめ、昭和四十四年度決算、また一般職や特別職の職員の給与改定にともなう条例案など、あわせて十六議案が審議されることになっています。

村議会は公開がたてまえになっているため、とくに秘密会になったとき以外はいつでも傍聴できます。傍聴を希望する方は議会事務局にその旨をお申し出ください。

道路の除雪に協力を
一人の不注意で車がストップ

冬期間の道路を車の通れるように確保することは、日常生活圏の広くなった住民生活に直接影響する大きな問題であり、今冬も小千谷―竹沢―虫亀を重点的に除雪する計画です。

しかし除雪作業は毎年一部の者の路上駐車などによって支障をきたし、おおぜいの人たちに迷惑をかけています。お互いに次の点に注意し交通が円滑に確保できるよう、ご協力をお願いします。

1 道路や車の交換場所に駐車しないでください。
2 屋根の雪は計画的に落し、車の運行を著しくさまたげないでください。
3 道路沿えのイケスには表示をしてください。

▼**あなたの車は駐車違反**

県道小千谷―栃尾線の羽黒トンネルを冬期間は車庫と感違いして駐車している方がまだあります。

トンネル内の駐車は危険ですし、道路交通法でも禁止されているはずですから絶対にやめてください。この道路の開通にともない警察では厳重に取り締っています。（長岡警察署）

▼**年末年始は役場を休ませていただきます**

十二月二十九日から明年一月三日まで、年末年始の休暇として役場、出張所、診療所の平常業務を休ませていただきます。

戸籍関係の届出、または急を要するご用件があるときは、当直者にお申し出ください。（総務課）

▼**歳末助けあい運動にご協力を……**

みんなで明るいお正月を……と、一日から三十一日まで歳末助けあい運動が行なわれます。

クリスマスやお正月をひかえて、師走の寒空に不幸なくらしを送っている人たちがたくさんいます。

このような人たちに、せめてお正月を楽しく過してもらうよう、温い義援金を贈りましょう。

歳末助けあい募金は役場（社会福祉協議会）NHKまたは郵便局などで受け付けています。（住民課）

▼**住所の移動は届け出を確実に**

戸籍法や住民基本台帳法で決められている出生、死亡、転人、転出など主な届け出の種類は次のとおりです。このような理由が生じたときは期間内に必ず手続きをしてください。

とくに転入、転出の届け出を怠たっていると、選挙権、国民健康保険、予防注射など住民生活に必要な利益が受けられなくなり、これを長い間放置しておくと自分の住所がわからなくなったりして、就職、進学に必要な書類または印鑑証明などが必要になったときに間に合わなくなります。転出するときはあらかじめ転出証明書の交付を受け期間内に転出先に届け出ましょう。

また、次のような届け出をするときは「印鑑」「国民健康保険被保険者証」を忘れずに持参してください。（住民課）

主なる届出一覧

届出区分	届出の期限	届出地
転入	14日以内	転入地
転出	あらかじめ	住所地
村内の転居	14日以内	住所地
出生	14日以内	住所地または出生地
死亡	7日以内	住所地または死亡地
婚姻・離婚	随時	住所地または本籍地

▼**郵便物の事故調査は電話でも受け付けます**

郵便物が届かなかった、開封してある、間違って配達された、遅れた……。こんな経験がありませんか。郵政省にはこんな事故を特別に調査する機関があります。

このような事故がありましたら、あきらめたり、おっくうがらず、まず郵便局へ電話でも書面でもよいですからお申し出ください。（郵便局）

お詫び

先月号にインフルエンザの予防注射料金を誤って掲載し、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。

歳末
たすけ合い
みなさん
ひとりひとりが
サンタクロース
です

暖房器具を点検しょう

- ▶ 石油、ガスストーブは、使用の前に念入な掃除を。
- ▶ 使用するときは、安全な場所で、給油は火を消してから。
- ▶ 使用後は跡始末を完全に。

告示第19号

昭和45年度上半期の財政況状を次のとおり公表します

昭和45年12月1日
山古志村長 佐藤 久

これは昭和45年度予算の9月30日までの使用状況を明らかにするものであります。

その概況は次の表のとおりですが一般会計において予算総額は2億1,02万4千円で、支払済額は35%に当たる7,431万円となっています。

主な内容は人件費や物件費など経常的な経費のほか、村道改修費、教育施設費、産業振興費などに支出したものです。

これに対して歳入は、予算総額の44%に当たる9,254万円が収入不足となっていますが、今後地方交付税、国県支出金、村債などが年度内に収入になることによって、健全財政は確保される見透しであります。

村ではいっそう経費の節約につとめ事業面の経費の充実をはかり、住民福祉の向上のため努力をしています。

① 収入支出の概況（9月末日現在）

一般会計（単位：円）

区分	現計予算額	収入支出済額	差引予算残額
歳入	210,284,000	117,739,615	△ 92,544,385
歳出	210,284,000	74,310,309	135,973,691

国民健康保険特別会計（単位：円）

区分	現計予算額	収入支出済額	差引予算残額
歳入	41,886,000	17,072,700	△ 24,813,300
歳出	41,886,000	16,571,667	25,314,333

診療所特別会計（単位：円）

区分	現計予算額	支入支出済額	差引予算残額
歳入	11,501,000	5,188,530	△ 6,312,470
歳出	11,501,000	5,185,908	6,315,092

② 住民の負担状況（9月末日現在）

村税（単位：円）

年度	賦課額	世帯数	一世帯当り負担額	人口	一人当り負担額
45年	7,812,457	1,063	7,349	4,669人	1,673

※ 賦課額は村民税と固定資産税を合計したものです。

国民健康保険料（単位：円）

年度	賦課額	被保険世帯数	一世帯当り負担額	被保険者数	一人当り負担額
45年	5,249,486	880	5,965	3,932	1,335

③ 財産と村債の現在高（9月末日現在）

財産

区分	土地	建物	有価証券	預金
面積	612,704㎡	13,745㎡	円 –	円 –
価格	–	–	1,021,814	48,385,199

村債（単位：円）

区分	大蔵省	郵政省	その他	計
普通事業債	4,217,604	7,583,275	1,266,654	13,067,533
辺地債	15,573,218	–	–	15,573,218
減税補てん債	744,764	–	–	744,764
貸付金	–	–	1,947,412	1,947,412
計	20,535,586	7,583,275	3,214,066	31,332,927

原産地のセンター

ニシキゴイ指導研修所が完成

かねて二丁野に建築中のニシキゴイ指導研修所が完成し、十一月二十七日に喜びの完成式が同所で行なわれました。

これは、すでにニシキゴイ主産地形成事業の一環として県内水面水産試験場山古志試験地内に指導研修所が新設されることに決定していたところで、七月二十七日に三島・越路町（株）大石組と工事請負契約が成立し、八月三日の地鎮祭に引き続き工事に着手、十一月十日に完成したものです。

建物の構造は鉄骨造り三階建で間口一二・七四米、奥行き七・二八米で総面積は二八六・八五平方米であり、豪雪に耐える堅固な骨組みになっています。

内部は事務室、総合研修室、実習室、小研修室、図書室、講師室、宿泊室、調理室、食堂、浴室および管理人室などに区分されており、総工事費は八百二十万円余を必要としました。

また、一回の研修利用人員は五十人、宿泊の場合は二十人の収容が可能となっています。

今後のニシキゴイ振興をはかるため、この施設を最高度に利用するよう具体的な運営方法をいま検討中であり、後日お知らせしますので有効にご利用ください。

全国的に生産体制にあるニシキゴイ……この鉄骨三階建の施設が原産地の研修センターとして有効に活用されることを期待したい

年賀状の季節です
差出しは22日までに

年賀状の季節になりました。なにかと心せわしい毎日ですが郵便局では次の点にご注意のうえ、早めに年賀状の準備をされるようご協力をお願いしています。

☆**差出しは22日までに**
年賀状の受け付けは十五日から始まります。元日配達への〃安全圏〃は二十二日ですから、それまでに出しましょう。年賀状は元日にもらってこそ、うれしいものです。

☆**必ず郵便番号を**
平常の月の四倍もの郵便物が十二月一か月に出されるため、郵便局では大ぜいのアルバイトを雇います。郵便番号がはっきり書いてあればこれらの人でも早く区分けができます。
年賀状は郵便番号を書いていただければ都・道・府・県名は省略されてもさしつかえありません。

☆**あなたの郵便番号も**
相手の方が返信のときにたいへん便利です。

☆**郵便番号はペン書きで**
あて名を毛筆で書く場合も、郵便番号だけはなるべくペン書きにしていただきたいのです。

☆**年賀状の出し方**
なるべく、山古志村内あて、県内あて、県外あての三つに分け、そのことを書いた付せんをつけて束ねてお出しください。
お年玉つき年賀はがき以外のはがきを、年賀状としてバラで出すときは、一通ごとに表面に「年賀」と朱記してください。

☆**住所を正しく**
昨年、あて名不正確で迷い子になった年賀状は全国で四千万通（全体の二・五%）もありました。
むね番号、室番号、○○様方、××荘内なども忘れずに記入してください。

人物短信
坂牧さん 叙勲

坂牧善一郎さん（70）＝東京・港区麻布飯倉片町三〇＝は十一月三日の文化の日に名誉ある叙勲を受けられました。

坂牧さんは種苧原の出身、元日本石油化学社長で現在は日本化学工業会社役員として石油化学工業の技術向上に尽力、学界の発展に寄与したことにより、勲二等瑞宝章を受けられたものです。

地盤は大丈夫
中学校建設用地

中学校統合校舎の建設用地は、すでに陸上自衛隊の協力により整地は終っていますが、来年の建築着工を前に校舎の安全性を確保するため、地質調査を実施しました。

応用地質調査事務所（新潟市）に依頼し、ボーリングによる詳細な調査をした結果、特に問題がないことがわかりました。

今月の税金

固定資産税 第3期分
国保保険料 第5期分
の納期です
28日までに忘れずに納めましょう

山古志よもやま
トンネル　佐藤草平　(14)

宮本先生が、視察され、一番驚かされたのはトンネルであった。小松倉、木籠、羽黒のもので、それが汗と油の結晶の手掘りである処に、山古志の、その部落の不屈な根性が見られ、ツルハシ一振り一振打こまれたあと歴然と当時の苦労を物語っている。この手掘りトンネルは、文化財としても、観光資源としても、錦鯉におとらない重要な要素を含んでいる。また、これ程立派な曲折にとみ、長い手掘りトンネルは、全国的にみても数すくない一つであることに間違いない。

トンネルで、記憶を呼ぶものに、物語や小説で特に有名になった「青の洞門」を想い出す。このトンネルは、九州の大分県下毛郡耶馬渓（やばけい）町、私鉄大分交通線洞門駅近くにあるが洞門の長さは一八五メートルとも、二〇二メートルともいわれたが今はそんなにない。

昔、青という処から樋田という土地までクサリを渡し「かけ橋」とした。この往来はきわめて難儀で、下を流れる中津川の渕に落て死ぬ旅人が絶えなかったという。それが江戸の中期、享保の初め頃何処からともなく漂然と一人の禅僧が来て、此処でノミとツチとゲンノウでトンネルを掘り出した。溶岩地帯だけに困難この上もなかったが、僧は衆生済度の念仏を唱い、一心に、一日も休まず三十幾年かの歳月をついやして完成させたものであった。

この僧とは――禅海和尚と呼び、もとはと云えば、越後高田藩の武士で、俗名を福原市九郎といった。事情は不明だが曹洞宗の僧となり、六十六部（ろくぶ）姿で九州に漂泊、今にも残る不滅の「青の洞門」を掘りあげた。ここにも越後人の根性の根強さを世に示したものである。

禅海和尚は、安永三年八月二十二日、八十八才の生涯をここでとげたが、近くの羅漢寺には、墓と当時使った品々が保存され、多くの人々に和尚の達業をしのばせている。

小説「恩讐の彼方」はこれをモデルにした。宮本先生は、山古志のトンネルはこれにまさると激賞されているが子孫のため永く保存したいものである。